

第1回 長野市景観審議会記録

日時 平成28年7月6日(水)
午後1時30分～午後4時00分
場所 市役所第一庁舎 7階 第二委員会室

出席委員 11名

赤羽委員、稲葉委員、久米委員、石黒委員、北村委員、小山委員、篠原委員、
野村委員、手塚委員、舞田委員、宮入委員

欠席委員 4名

大上委員、寺内委員、野口委員、藤島委員

1 開 会

定足数の確認

2 委員委嘱

3 会長挨拶

4 諮問

第29回長野市景観賞について

景観重要建造物の現状変更について

5 審 議

(1) 第29回長野市景観賞について

委員：公共作品が9作品あるが、仮に選定されても1作品のみとなる。一次選考の段階で各委員が投票できる公共作品を、3作品に限定するよう配慮してはどうか。

<全員賛成>

委員：一次選考では、各委員が持ち点10点を1作品に10点入れられる採点方法になっているが、得点に偏りができる可能性がある。1作品に入れられる点数の最高点を5点までに決めた方がバランスが良いのではないかと。

<全員賛成>

委員：今回、いくつか古い建物が応募されている。古く価値があることを理由に推薦していると思うが、調書のコメントを読んでも、どうして今、景観賞の対象となるのか、よく分からないものがある。

委員：建築に携わる者にとっては、貴重な歴史的資料である。こういう場で推

薦されたり、景観賞を受賞したりすることで歴史的建築物を残そうという気持ちになっていただければ非常に素晴らしい。

委員：少なくとも50年、80年という年月を経て今残っている物であれば是非残していただきたいと思う。

委員：古い物なら何でも良いとなると、選考基準による総合的な判断が出来ないのではないか。

委員：今回再応募のあったものに、緑化に関するものがある。以前、現地調査を行ったところ、確かに素晴らしい緑化だったが、全て塀の内側にあり、外からは見えず地域への貢献がないという理由で、落選したものがある。

委員：オープンスペースがあるなど我々市民が利用でき楽しめる施設が、景観賞に相応しい。建物が古く歴史的に意味があることは大切だと思うが、市民が楽しめるもの、利用出来るものを評価したい。

各委員が候補作品34作品から、持ち点10点を配分し投票

<投票・集計>

事務局：投票結果を説明。

委員：植栽がまだしっかり整っていないものは、2～3年後にしっかり植栽が根付いてから選考した方が良いのではないか。

委員：今年落選して、来年も出てくるかはわからない。

委員：応募作品の中には、今、枯れた花がそのまま飾られているものがあり、非常に残念。何故枯れた花をそのまま飾っておくのか、景観には値しないのではないか。

投票結果で上位10位までの作品と、特に現地調査を要すると認められた1作品、合計11作品を最終選考(現地調査)の対象とした。

6 その他

7 閉会
部長挨拶